

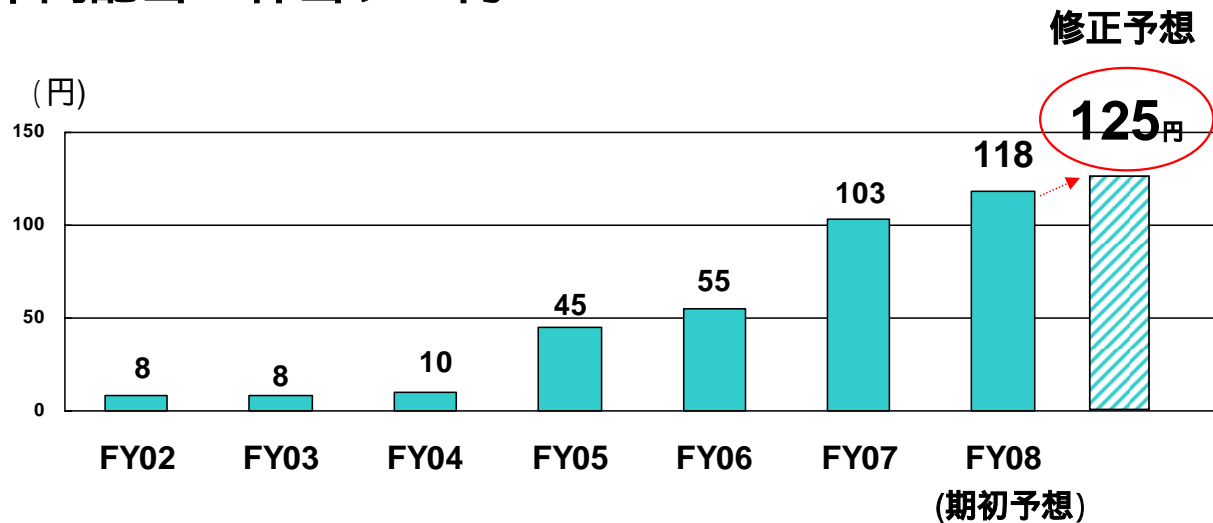
事業のさらなる成長を目指して

代表取締役会長 東 哲郎

2007年11月13日

中間決算として過去最高を達成

- ▶売上高 4,763億円, 営業利益950億円, 中間純利益 624億円
- ▶営業利益率 19.9%
- ▶中間配当 1株当り 70円



通期配当(予想)を、118円から125円に増額修正します。

今後の市場環境とTEL経営のスタンス

1. 当上期: 過去最高業績を達成。受注は調整。
当下期: 売上は調整するが、受注は回復へ向かう。
来期: 下期より回復を見込む。
2. TEL経営の焦点は、「次のピークでの大きな成長」。そのために:
 - i. 微細化、低消費電力化に技術力で勝負。強力な製品とソリューションを提供していく。
 - ii. 新規事業分野への参入を果たす(RLSA製品, GCIB, MEMS, etc.)。
3. 成長投資(R&D, M&A等)及び生産性向上のための投資は、市場減速局面でも緩めない。

RLSA: Radial Line Slot Antenna (低電子温度を特徴とする新プラズマ源)

GCIB: Gas Cluster Ion Beam (低エネルギーガスクラスターイオンビーム)



